

1. ISO/DIS9001 解説セミナーを開催します。

JICQA 公開研修センターでは、ISO/DIS9001 解説セミナーを期間限定で開催します。解説だけでなく演習を含む1日コースです。7～8月に開催したJICQA登録組織向け無料規格改正説明会の内容をベースに、事例を交えた実践的内容に改訂しました。

ニュースレターをご覧になってお申込みをされた方は、受講料 30%割引を適用いたします。

*お申込みの際、通信欄に「ニュースレター」とご記入ください。

- ◆ 開催日時 ①2014年10月29日(水) 10:00～16:00
②2014年10月30日(木) 10:00～16:00
- ◆ 開催場所 [JICQA 公開研修センター 東京会場](#)
東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル 7F
- ◆ 受講料 特別(30%割引)価格 20,109円(税込) 定価 28,728円(税込)

☆ セミナー詳細は JICQA ホームページをご覧ください。

担当：JICQA 公開研修センター
深谷(フカニ)・田中・米田
(TEL：03-5541-2011)

2. 道路交通安全マネジメントシステム(RTSMS)に追加される、我が国独自の新たな規格 N-RTS が公表されました。

2014年10月9日、独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)は、道路交通安全マネジメントシステム(RTSMS)に追加される、我が国独自の新たな規格である N-RTS(Nippon Road Traffic Safety) マネジメントシステムを公表しました。

N-RTS は、道路交通安全マネジメントシステムとして初めて作成された国際規格である ISO39001:2012 に、日本の交通安全事情及び道路交通法規制の現状を踏まえて、重大事故削減に有効な具体策を追加要求事項として加えたものです。JICQA は、N-RTS マネジメントシステム認定・認証スキーム勉強会の一員として、規格及び認定・認証スキームの構築に当初より参画してきました。

N-RTS の追加要求事項は、意図しないヒューマンエラーや意図的な不順守等への対策である、RTS マネジメントシステムに対する要求事項の 5 項目、及び、車両の安全な運行を管理するための具体策である、運行管理プロセスに対する技術的要求事項の 10 項目から成り立っています。

ISO39001:2012 の適用対象は、道路交通システムと関わりを持つ全ての組織とされ、自動車を自ら運行しないが道路交通安全に関与する業種(行政当局、駐車場運営会社、自動車修理工場、学校等)も適用対象となっています。一方、N-RTS は、適用対象を自ら車両の運行を行い社会的にも安全が求められる業種としています。すなわち、トラック輸送会社、バス会社、タクシー会社等の道路運送を生業にする業種(緑ナンバー)、及び道路運送が生業ではないものの、営業、巡回等の業務で自ら自家用車(白ナンバー)を運行する業種が該当します。

NASVA は、今後 N-RTS のスキームオーナーとして、この新たな規格に関わる全体管理、追加要求事項の策定、改定等を行います。また、N-RTS を認証された組織にのみ N-RTS マークの使用を認めます。道路交通安全マネジメントシステムである ISO39001 及び N-RTS のわが国への普及により、更なる道路交通安全事故の防止に取り組む方針です。

公益財団法人 日本適合性認定協会(JAB)は、ISO39001 及び N-RTS の認定/認証制度の準備を行っており、本年 12 月から認証機関の認定申請を受けつける予定です。JICQA は、ISO39001 及び N-RTS の認定申請の準備を開始しています。現在、JICQA にて ISO39001 の認証を受けられた 3 組織様には、認定後、JAB の認定シンボルのついた登録証を無償にてお渡しします。

JICQA は、道路交通安全マネジメントシステムの ISO39001 及び N-RTS の普及を通じて、我が国の道路交通事故の削減に貢献してまいります。今後とも、よろしくお願ひします。

【RTSMS 無料セミナーのお知らせ】

JICQA では無料セミナー「ISO39001 の概要」を開催しています。ISO39001 及び N-RTS の両規格について解説します。運送業の方だけでなく、組織の交通安全に関わる業務の方にもおすすめてです。是非、ご参加ください。

◆ 開催日時 2014 年 10 月 20 日(月) 14:00~16:30(受付開始 13:30)

◆ 開催場所 [JICQA 公開研修センター 東京会場](#)
東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル 7F

☆ セミナー詳細は JICQA ホームページをご覧ください。

担当：営業部 光守 (ミツリ)
(TEL : 03-5541-2752)

3. FOOD SAFETY DAY JAPAN 2014 にスポンサー参加します。

JICQA は、2014 年 10 月 30 日に [The Grand Hall 品川](#) で開催される「FOOD SAFETY DAY JAPAN 2014」にスポンサー参加します。

FOOD SAFETY DAY JAPAN 2014 では、今年のテーマを「One for All, All for One 食品安全を最大化するために」として、アジアから 400 を超える食品安全エキスパートが集まります。当日は、GFSI 最新情報、フードラウド(食品偽装)&フードディフェンス、官民協働がもたらす食品安全、食品産業振興と食品安全及び世界の食品安全をテーマにしたプログラムが予定されております。

また JICQA はブース出展し、FSSC22000、ISO22000、HACCP 及び ISO9001 等の審査登録に関してのご相談をお受けいたします。

参加お申し込みや詳細につきましては、[FOOD SAFETY DAY JAPAN 2014 のホームページ](#)をご確認ください。

食品関連組織および食品包装関連組織の皆様のご来場を、心よりお待ち申し上げます。

担当：営業部 平塚
(TEL : 03-5541-2752)



規格紹介⑥

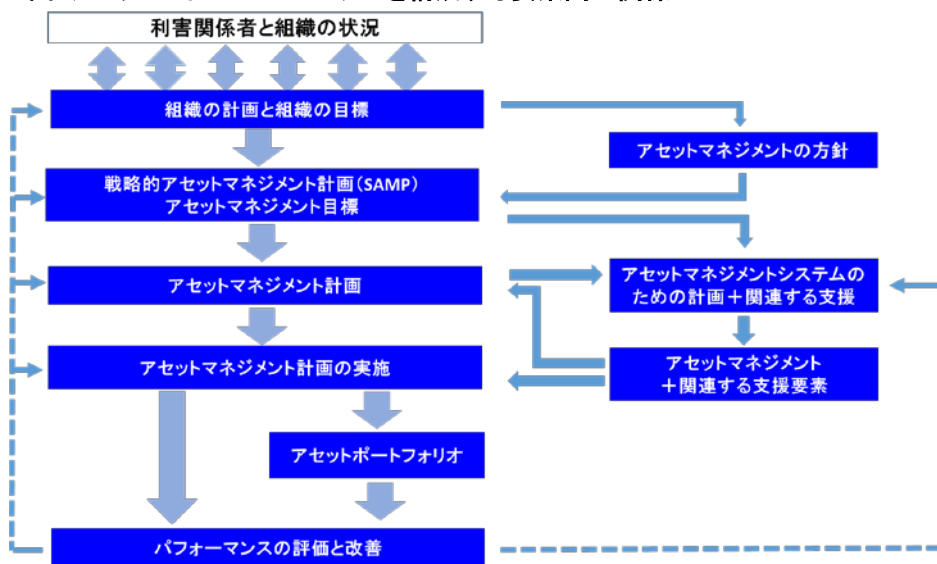
～ アセットマネジメントシステム ISO55001 ～

ISO55001 はアセットマネジメントの国際標準であり、上下水道、道路、橋梁、鉄道及びその他のエネルギー、通信などの社会インフラ分野や、民間の物的資産(事務所、工場など)、さらには非物的資産(知的資産、人的資産)などのアセットが適用の対象となります。アセットマネジメントは、「アセットからの価値を実現化するための組織の調整された活動」と定義されます。アセットマネジメントは、単なる施設の維持管理の活動ではなく、アセットを保有、管理する組織が、計画策定、運用、パフォーマンス評価、改善といった要求事項を遵守しつつ、国際標準に従って管理する仕組みと言えます。

アセットマネジメントシステム(AMS)は、組織全体の目標から資産管理の目標、計画の実施とその評価、改善に至る組織全体の PDCA サイクルや、そのサイクルをうまく回すための支援の仕組み(組織のトップのコミットメントや組織の役割、責任、権限の明確化、必要な資源配分や能力の確保、データベース構築などの情報マネジメント)を含めたシステム全体を指します。

AMS は、下図のように相互に関連し合う要素からなります。

図:アセットマネジメントシステムを構成する要素間の関係



出典:ISO/PC251 カルガリー会合資料

ISO55001 を効果的に運用することにより、以下のようなメリットが考えられます。

【 導入のメリット 】

- (1) アセットマネジメントの効率化・高度化
 - 体系化された要求事項により、アセットのライフサイクルを通じて、組織が実施すべき活動を計画、調整、管理が可能になります。
 - 組織が行うべきアセットマネジメント (AM) 活動が、体系化して整理された結果、各担当者が異動しても現状の運用体制を適切に引き継ぐことが容易となり、将来にわたる AM活動の継続的維持が期待できます。迅速な応急対応や災害復旧などにも効果を発揮できます。
- (2) アセットマネジメントに対する説明責任の強化
 - ISO55001 に沿った形でアセットマネジメントシステム (AMS) を導入・運用し、第三者が認証することにより、アセットマネジメントやサービスレベル、料金等に関する説明責任を果たすことができます。
- (3) わが国社会インフラの海外への輸出促進
 - 世界的な規格の普及により、海外インフラ案件への入札参加要件として ISO55001 認証の取得が要求される可能性も考えられることから、本邦民間企業が諸外国に先んじて認証取得することにより国際競争力を確保できます。

我が国では下水道分野の取り組みが先行しており、下水道分野における ISO55001 適用ガイドライン検討委員会からガイドラインが発表されています。下水道事業の効率的な維持管理の実施において、パイロット審査が実施されています。特に社会インフラ等の公共事業に関連した分野では、今後、認証取得が進展することが想定されます。

担当: カスタマイズ 監査部 五味田 (ゴミタ)
 営業部 五弓 (ゴキウ)、平塚
 (TEL: 03-5541-2752)

JICQA 登録組織件数情報

JICQA登録組織件数情報

(2014年9月30日現在)

【マネジメントシステム登録件数】

適用規格	現在登録件数
ISO 9001	2295
JIS Q 9100	142
ISO 14001	1452
OHSMS	50
ISO 22000	44
FSSC 22000	23
HACCP	17
ISO 27001	239
ISO 20000-1	6
ISO 22301	4
ISO 39001	3
ISO 50001	1
合計	4,276

【JIS認証件数】

登録区分	現在認証 件数
A; 土木・建築	25
B; 一般機械	25
E; 鉄道	4
G; 鉄鋼	372
H; 非鉄金属	35
R; 窯業	15
Z-1; 包装・容器	12
Z-3; 溶接	9
合計	497

TS 16949登録組織情報(SRI登録*)

適用規格	現在登録件数
TS 16949	115
ISO 9001	6

*TS16949の審査業務はSRI-JICQAで行っております。



日本検査キューエイ株式会社 JIC Quality Assurance Ltd. (JICQA)

〒104-0041 東京都中央区新富二丁目15番5号(業務部:大西、樋口)

TEL:03-5541-2751 FAX:03-5541-2955